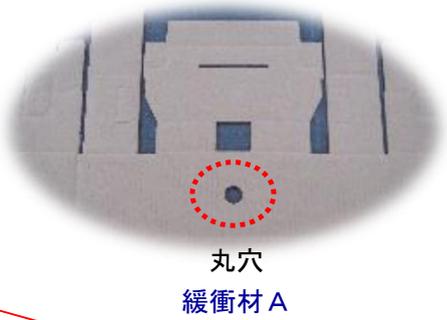
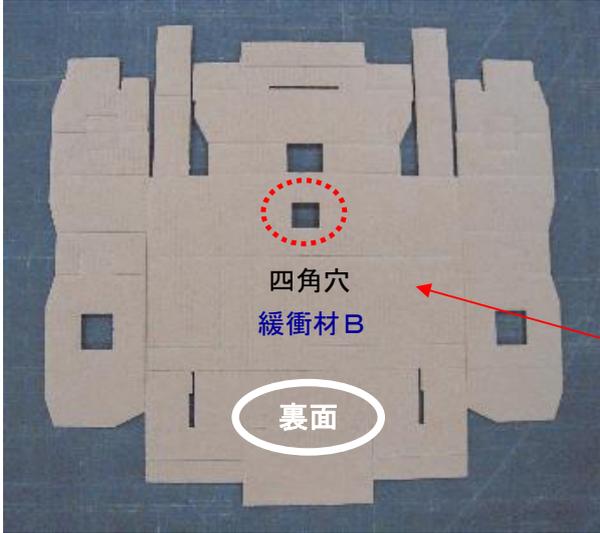


きょうぎ かだい 【競技課題 1】 かんしょうざい くみたて けっそく 緩衝材の組立・結束

てん かい ず 展 開 図



※緩衝材は2種類あります

※罫線(折れ線)が見える方が裏面になります

かん せい ず 完 成 図

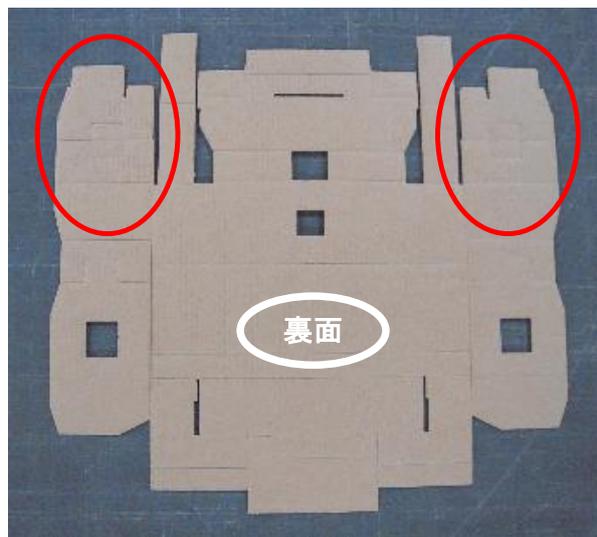


組立完成図

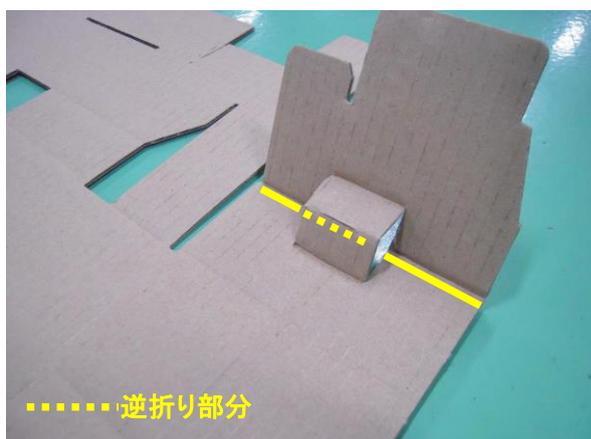


結束完成図

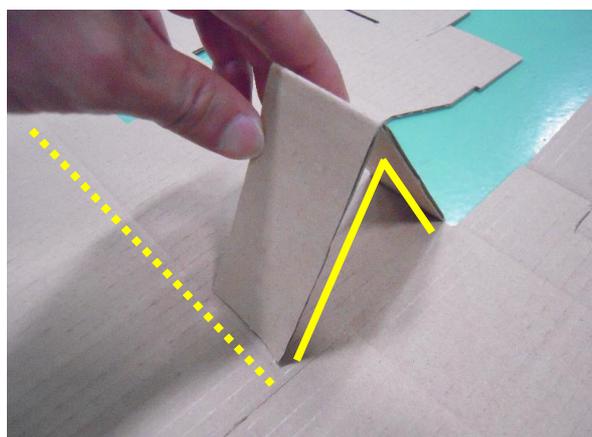
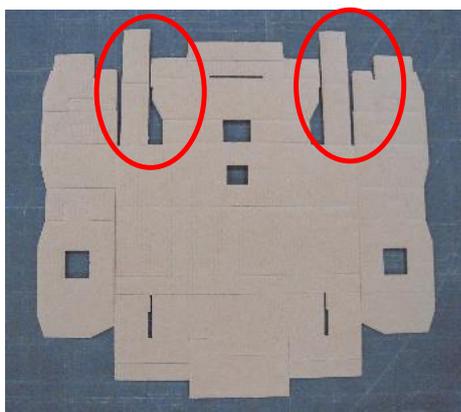
1. 緩衝材は2種類あるが、基本的な折り方は共通です。(写真は緩衝材B)  
 緩衝材の裏面を上にし折ります。  
 最初に○印の箇所から折ります。



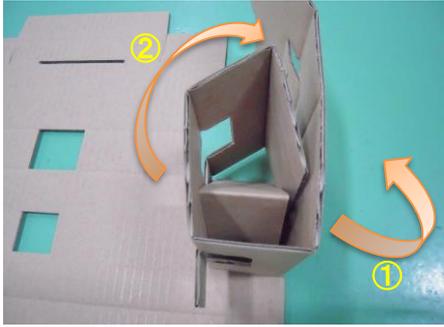
2. 本体の袖部分2か所に折り癖を付ける。



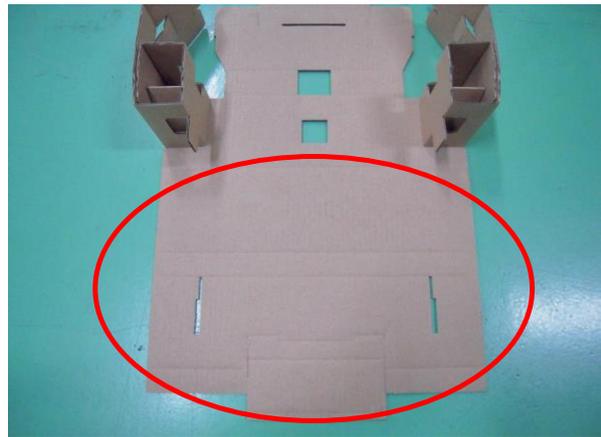
3. ○部を点線部分の罫線に合わせて折り込み三角をつくる。



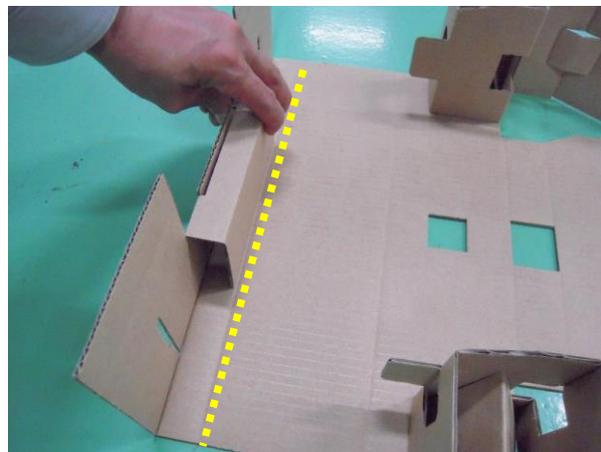
4. 袖部分を立ち上げ、3で折った三角部分に巻き付けるように折り込む。



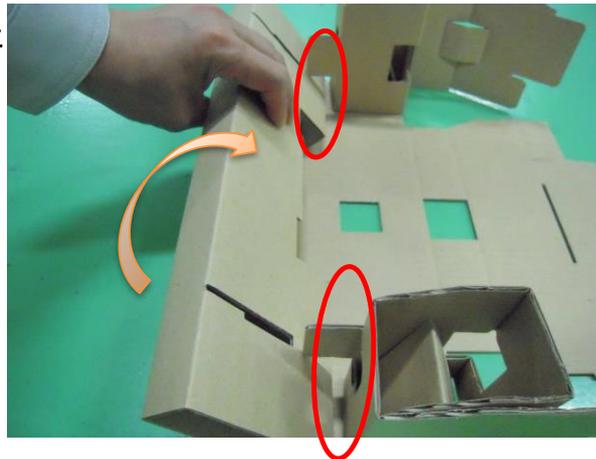
5. ○で囲んだ部分を折ります。



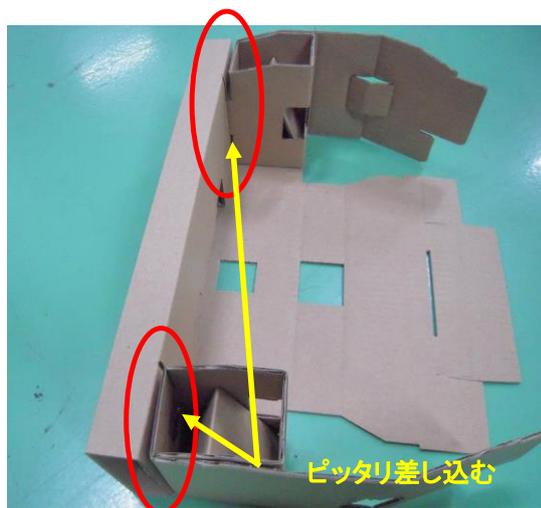
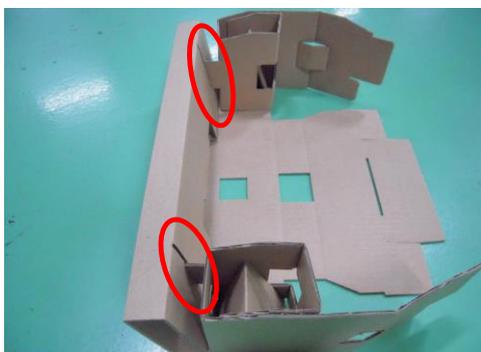
6. 中心部を点線部の罫線に合わせて折ります。



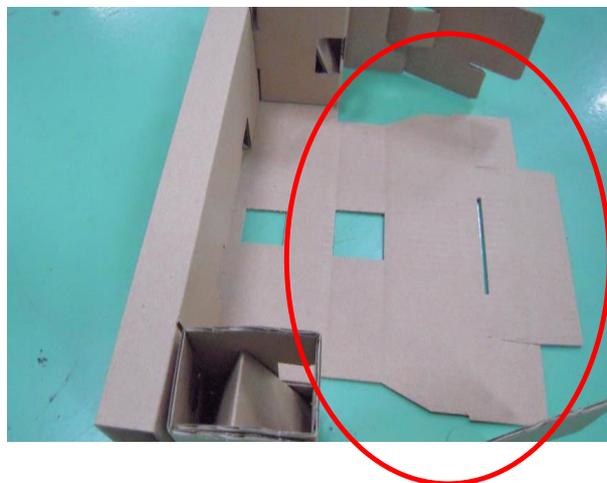
7. 両端先端部を折り込み、全体を矢印方向に立ち上げながら折り込む。



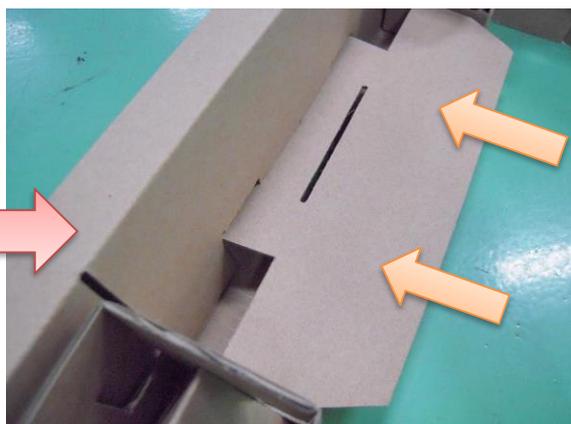
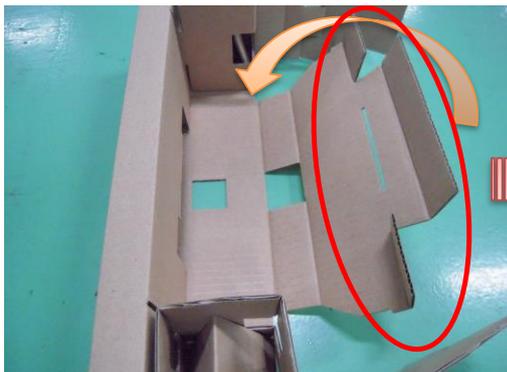
8. 穴部に袖部分の凸部分を差込ながら全体を立ち上げ折り込む。



9. ○で囲んだ部分を折ります。



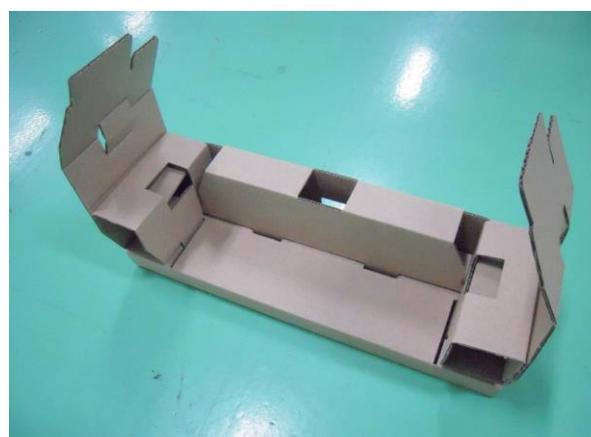
10. 先端部3か所を折りながら矢印方向におこし込み。



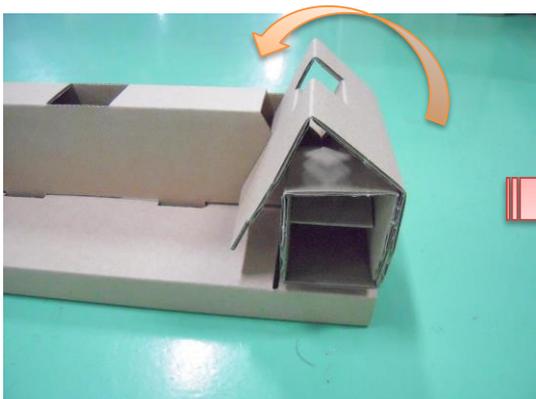
11. 全体を折り込み、本体にピッタリとおこし込む。



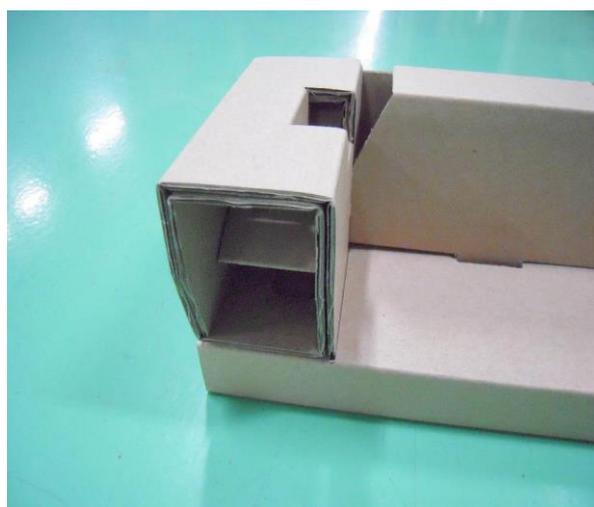
12. 袖部が上にくるように向きを変える。



13. <sup>そでぶ</sup>袖部を<sup>けいせん</sup>罫線に<sup>あ</sup>合わせ<sup>おこ</sup>折り込み、<sup>せんたんぶ</sup>先端部を<sup>ほんたい</sup>本体に<sup>さ</sup>差し込む。



14. <sup>ほんたいがわ</sup>反対側も<sup>どうよう</sup>同様に、<sup>ほんたい</sup>本体に<sup>さ</sup>差し込む。



15. <sup>お</sup>はじめに<sup>さんかくぶぶん</sup>折った三角部分が<sup>せいかく</sup>正確に<sup>さんかく</sup>三角になっているか<sup>かくにん</sup>確認し<sup>かんせい</sup>完成。  
これを<sup>かんしょうざい</sup>緩衝材Aと<sup>かんしょうざい</sup>緩衝材Bそれぞれ<sup>こ</sup>5個ずつ<sup>かんせい</sup>完成させる。



16. 作業台に結束紐を可能な限り直線に置く。



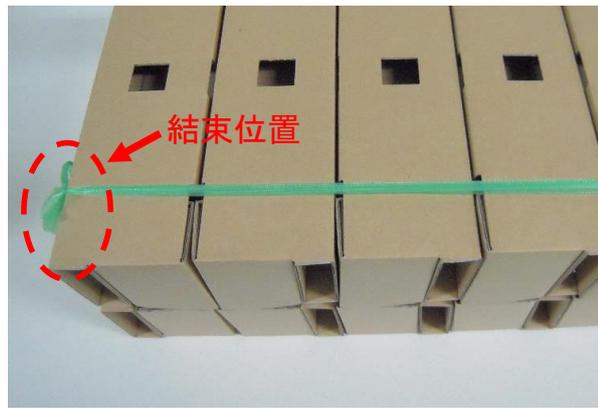
17. 設置した結束紐の上に緩衝材5ヶを  
結束紐が端側位置にくるように置く。  
置く際は○口穴が下にくるように置く。



18. 17で置いた緩衝材と異なる緩衝材  
(○穴であれば□穴、□穴であれば○穴)を  
5ヶ、穴が上にくるように置く。



19. 緩衝材の端から8cm以内の角で  
けっそくする。結び方は自由。  
ただし、10cm以内の結び目で容易に  
とことかのかのうむすかた  
解く事が可能な結び方にする。  
また、紐を持ち上げたとき、製品と紐の  
かんかく間隔が5cm以内になるようにする。
- ※課題2では、みづかさくせい  
自分で作成した製品の  
ひもと紐を解いて使用します。



※結束位置は対角線でなくてもよい。

20. 反対側も同様に、結束紐を緩衝材の  
はんたいがわどうよう  
端にくるように設置する。  
けっそくひもかんしょうざい  
はしせっち



21. 緩衝材の角で結束し完成。  
かんしょうざいかどけっそくかんせい



※結束位置は対角線でなくてもよい。